



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています

特集・第4回体験発表会 3月22日(日)9:30~11:00 中野サンプラザ7階にて大々的に開催された。

報告者は桐山敬子さん、池田八重子さん、柳井美子さん、栗山研一さん、阿部信子さん、栗山敏昭会長の6名
解説は飯田孝雄副参事



倫理を血肉化するには“こんなに良くなりました、幸せになりました”と
皆の前で体験報告をすることです。・・栗山敏昭会長

記載は発表順

桐山敬子さん:入会に繋がった喜び・母が倫理を学んでいたこともあり、私も生活の基盤を倫理においていたが、主人の転勤先の帯広には倫理の会場が無くそれを良い事に、北海道の大自然を満喫し遊び暮らすという日々であった。1年半がたった頃自分のわがままが増長され、これではいけないと気が付き、何かしなくてはと思った時、「友の会」で嬉々として学んでいる友人に会い、入会した。東京に戻って、近くの倫理の会に通いながらも、二兎を追うもの一兎も得ずと分かっていながら「友の会」にも繋がっていた、今思うと、いい加減にしていたから二つとも出来ていたのだと思う。「友の会」も沢山良い所はあるが、超多忙で家事はほったらかしの状態であった。今年は次男、長女が受験生となるので、家庭を大事にし、倫理の“子育てセミナー”一本に絞り、一生懸命やろうと心を決めた時、2月のセミナーで友達が友達を誘ってきてくれ、さりげなく入会を勧めたら、気持ちよく入会してくれた気持ちの持ち方一つなんだと改めて感じた、と報告。

解説:結果を予想しないでスナオにその方向に向かった時良い環境が生まれるものです、時期もあるので長いスパンで見て下さい。これからは“子育てセミナー”に力を入れて下さい。

池田八重子さん:孫のしつけや受験に際して、私が心がけた事と題して発表・・老夫婦・長男夫婦・孫二人、人様が羨む様な3世帯6人家族で暮らしているが、気になるのは足の踏み場もない状態になる玄関の狭さでした。ぶつぶつ云いながら靴を揃える日が続いたある時、人の為とか、やってあげていると思うから腹もたつ、天がくれた贈り物、只で出来るリハビリだ、終わった時のこんな爽やかな気分を毎朝ありがとう、と心を変えました。幾日が過ぎ、ふと気が付くと真っ白なスニーカーがドアの方を向いてきちんと置いてあるではありませんか、一番大切なことを忘れていたと気が付き、折に触れ孫の起居動作を褒め、自分自身のやるべきことを実践していれば良いのだと痛感しました。上の男の子も行きたい高校へ推薦入試を受け合格、本人が我が家のルールを黙ってやり続けた事にも感心させられました。私たち祖父母の実践は1、じっと見守る2、口を出さない3、受験は本人と親に任せる4、私たちは自分のすべき事を喜んで行う5、嫌な事でも進んで受け入れるなど、たいした実践ではなくとも願いと関係ないことをやり続けることで偉大な力を戴き、合格の喜びに繋がったと思います。(実践とは1にスナオの一本道を前進して内なる小我を捨てて己以外の偉大者につく道行である)この丸山敏雄先生の名言こそ、今私が進むべき道と信じて努力してまいります。とベテランらしい報告でした。



解説:“靴を揃えると心も揃う”ポイントは心の姿勢ですね。喜んでやろうと心を変えたから、思わぬ結果が出たのでしょう。願いと関係ないことをやり続ける、宇宙はひと繋がりのだから、それがお孫さん等の喜びに繋がったのでしょう、35年勉強の事ですが、これからが本物になる勉強でしょう。嫌なことでも本当に進んで受け入れられるか、その為の訓練として私も毎朝通っています、継続は力なりです。

柳井美子さん:27年間旅行以外は休み無く、おはよう倫理塾に通い続けている。丸山敏秋理事長が主任であったとき「母親の最大の教育はお父さんは立派な人だと子どもの心に植えつける事」と言う言葉を聞いて、ああ私はなんて事をしてきたのか、主人に失礼な事をしていたと深く反省、まだ間に合うと猛然と実践に取り掛かった、今では3人の子ども達も良い伴侶にめぐまれ納得のいく人生を送っている。しかし一つだけ出来なかった実践が夫と手を付いての挨拶であった、そうこうする内、兄嫁の水晶占いが原因で富士見町の実家を失うと言う事態になり、あまりのショックで精神的に異常をきたすと言う大苦難を頂いてしまった、病院の先生に“かつての朗らかな妻にしてください”と頼んでいる主人のなさけない姿を見た時、本当に申し訳なく又神田よし派遣講師に“貴方は指導員ですね、丸山先生が悲しみますね”と言われ、なんとしても心を変えて直さなければと決意した、いろいろご指導も仰いだが本当の事を言わないのだから正しいご指導が出る筈もなかったある指導員から“貴方は柳井家に嫁いだ人間なんだから実家の事はいいんだよ”の言葉でハッとしました。長い間にはいろいろの事があったが今では夫婦の朝晩の挨拶も自然にするようになり、ときどき預かる孫にもよい躰と見えて、息子夫婦も大変喜び、もっと預かってもらおうと冗談交じりで言い合う昨今です。と幸せ一杯の報告でした。 現在、指導員制度はありません



解説:ポイントは順序、ご主人を一番に尊敬するようになり、三人のお子さんたちが立派に成長されたのでしょう。幸せ一杯ですね、感謝するから恵まれる、恵まれない時も感謝できれば素晴らしいですね。



栗山研一さん：ペルー、オリビア、チリ、アルゼンチンとアンデス山脈を下に陸路だけで南米を1ヶ月間旅して、昨日帰ってきました。



た。自然の雄大さに感激しましたが、貧困層の所では考えさせられましたし学ぶことも多かったです。又出かけるにあたり、1都市移動するたびに両親と祖母、祖父に手紙を書こうと決めました。15枚書く事が出来、無事に帰ってこられた事も良かったのではないかと思います。と青年らしい報告でした。

解説：日本は贅沢すぎますから、貧困層を見ると言うことはよい体験でしたね。若い時は自分の眼で見、触ってみることが自分のよい財産になると思います。これからも頑張ってください。

阿部信子さん：63歳 病気と仕事を通して喜びを得た報告 H16年ごろから体調を崩し、心臓はばくばく、食べても ぐも痩せる



疲れ、大汗をかく、主人からは怠け者と思われたのか“しゃきとしろ”と言われるような状態になり病院で検査しても異常無し、途方にくれていた時、すがる思いで紹介された、倫理を勉強していると言う病院に行き話をじっくり聞いてくれた後、“貴方はまじめな方ですね、すべてを自分で抱え込み身体がパンク寸前になっていたんですね、つらかったね”と言われ、その言葉で心と身体がずっと軽くなったのを覚えています、その後バゼトー氏病であることが分かり、治療に専念しました、その甲斐あって1年3ヶ月が過ぎた頃から、軽い運動なら良いですよとお許しが出たので、自分が楽しいだけでなく、人様が喜んで下さる事をしたいと思いい社会福祉協議会に登録し、お手伝いをさせて頂くようになりました。しかし人使いの荒い人や専属の家婦

のように扱う人などがいて私の心は何時の間にか不足不満の心になっていました、そのたびにご指導を受け、喜んでやらせて頂こうと心を切り替えて行きました。するといつの間にか嫌な人は遠くに去り、今では気持ちよく働かせて頂く日々が変わり“阿部さんが来るのが待ち遠しい、会えて良かった、生きていて良かった”と言ってくれる人や、指名してくれる若いお母さんもいて、子育ての事を相談される事もあります、そんな時は「新世」を読んで頂いたりもしています。新世頒布の不思議な力をも感じました。何より嬉しいのは主人との会話が滑らかになり、だじゃれを楽しめるようにまですなりました。父母に繋がる大切さも教えられ父母にも倫理の方々にも感謝の思いが深まりました。これからも出会いを大切にしたい縁がいただけるよう、自然体で仕事も倫理も続けさせて頂きます。と嬉しい発表でした。

解説：病気は心の持ち方ですから、嫌々ながら事に当たったり不足不満があつたらいいけませんね、苦難が来て「栞」に書いてあることが解って、実践されたから身体も元のように良くなったのでしょうか、まだまだ若いのだから、是非これからは会の為に力を貸して下さるよう努力して下さい。

栗山敏昭会長：今年は4月に50歳、創業60周年、結婚25周年、社長就任12年と色々な意味で節目の年に当たる。会社に「有言実行シート」と言うのがあがるが、これに具体的に書いていくとその方向にすんなり向かっていくと実感した。又100周年に向かって会社の基盤固めとし、社員に倫理、フィロソフィーをさらに勉強してもらおう、100マーク、社歌、社員のハワイ旅行、社員自身が感謝したい人に1万円の商品券を会社から送る、東京にマーケティングリサーチの事務所を作る、後継者体制を作る(長男が2月に入社)等、心に決めたことが順序良く消化できた事をありがたいと思っています。ちょっと気になるのは女子バレーボールVリーグ昇格試合で優勝できなかった事です。6月には内観を体験してみようと思っている事、夫婦でアフリカのサバンナに行こうと思っている事など、色々な意味で今は幸せに暮らしています、そして50歳を恩返しのできる1年にします。と発表。

解説：「道を聴いても唱えても我が行い せずば甲斐なし」と言いますが、50歳にして全部やっている、素晴らしいですね。商売より家庭倫理の会を発展させる事の方が難しいが、ここまで引っ張ってきた会長に心から感謝します。



平成21年度 生活倫理相談士現地講習会 3月14日(土)10:00~15:00 倫理研究所本部 講師：丸山敏秋理事長
テーマ：明朗な自分を創る・パート・・・自分の影と向き合う・・・中野区には4名の生活倫理相談士がいます

▶ 受講した感想を頂きました (紙面の都合上栗山敏昭会長・安藤忠子さんは次の機会にさせて頂きます)

▶ はじめ 元ちとせさんの『空に咲く花』 * 出逢ったすべてのことに / 大切な ああ 意味がある * どんな明日が巡ってきても / きつとあわせになれる すばらしい歌詞と美しい歌声に何とも穏やかな気分の内に研修が始まった。故会長が天国より特別ゲストとして呼ばれ? 講演ビデオが流れた。病後で体調のすぐれない中、淡々としかも、あふれる思いを私達に伝えてくださった。影の存在 自分の小我のもっと奥にあるもの、30数年勉強していても気付かなかった事が少し見えてきたような気がしました。「リスニング」では、親へのこだわりが取れない方と組になったが、自分にはそうした所がないか、万象我師と受けとめ理事長が提示した実践を心の研磨と受け止め、日々を明朗に過ごしたいと思ひます。池田八重子

▶ 10時より3時まで丸山敏秋理事長の研修で大変充実した一日でした。資格があるから研修に参加でき、心境の向上・自分の学びを深める事が出来ると実感しました。中野区は4名の参加と少ないので資格を取って頂いて多くの皆様と参加できますこと、心より願っています。柳井美子

